

令和3年度 滋賀県「学校を核とした地域力強化プラン」研修会 (事業推進市町等対象) 開催報告

- 1 **趣旨** 将来を担う子どもたちの教育を支えるため、幅広い層の地域住民や企業・団体等の参画により地域学校協働活動が推進されることが期待されている。コミュニティ・スクールの導入も広がりを見せる近年、地域学校協働活動とコミュニティ・スクールが一体となった推進方策についての理解を深め、これからの地域と学校の在り方について学びを深め一層の推進をねらい、対象者への研修会を開催する。
- 2 **主催** 滋賀県教育委員会
- 3 **対象** (1) 「学校を核とした地域力強化プラン」市町担当事業関係者 (各市町担当者)
(2) 公立幼稚園、小・中学校教職員
(3) 地域学校協働活動推進員・地域コーディネーター・統括的コーディネーター等
(主に、既にプラン事業を推進されている市町を対象とした内容)
(4) 「地域連携担当者」等新任研修受講者 (選択研修)
- 4 **日時** 令和3年8月27日 (金) 13:30 ~ 16:15
- 5 **会場** 滋賀県立男女共同参画センター (近江八幡市鷹飼町80-4)
緊急事態宣言下により、オンライン (Zoom) 参加のみ
- 6 **内容**
 - 講演 (50分)
演題 : 「学校と地域が協働し、みんなが元気になるために
~持続可能な「地域とともにある学校」づくりを通して~」
講師 : 北島 泰雄 氏 (滋賀県CSアドバイザー、元 草津市立草津第二小学校長)
 - コミュニティ・スクール 実践紹介 (30分)
発表者 : 松田 幸夫 氏
(滋賀県CSアドバイザー、長浜市立余呉小中学校 主任事務主査)
 - パネルディスカッション (40分)
テーマ : 「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の
持続可能な在り方」
パネリスト : 3名 [五十音順]
磯崎 久和 氏 (彦根市生涯学習課 主幹)
松田 幸夫 氏 (CSアドバイザー、長浜市立余呉小中学校 主任事務主査)
山元 尚美 氏 (湖南市立石部南小学校 地域学校協働活動推進員)
- 7 **参加者数** 111名 (市町58名、地域連携担当者53名) がオンライン参加

8 講演・事例発表・パネルディスカッションの概要

講演は、まずコミュニティ・スクールと地域学校協働活動についての再確認、そして、一体的推進の在り方について説明いただいた。さらに、学校運営協議会を設置する目的、「納得解」を目指す熟議の大事さについて問いかけられ、参加者が考える機会となった。また、持続可能なコミュニティ・スクールの推進のために、地域資源を活かすことや取組の広報・周知、組織づくりについて具体的にご説明いただき、学校・地域・家庭それぞれが元気で明るくなる「三方よし」の学校づくり・地域づくりを目指すことをご教示いただいた。



事例発表では、長浜市立余呉小中学校のコミュニティ・スクールとしての取組を発表された。その中で、「余呉ふるさと科」（生活科・総合的な学習）という9か年におよぶカリキュラムの実践や、子どもや保護者、地域の方、教職員それぞれが思いを出し合い、具体的実践へつなげる熟議「よごトーク」を紹介され、「熟議」「協働」「マネジメント」および目標・ビジョンの共有が大事だということをお伝えされた。

パネルディスカッションでは、①コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の効果や課題、②地域と学校の取組を持続可能なものにするために必要な視点、③ボランティア等の人材確保のための方法、についてパネリスト3名のそれぞれの立場で意見を述べる内容となった。教職員、行政職員、地域学校協働活動推進員の方々にとって、今後の取組へのヒントを得られる場となった。

9 参加者のアンケートより

- ・目指す子ども像を共有しながら活動を進め、話し合いの中で「納得解」を見つけようとする姿勢が重要であると感じた。
- ・それぞれの立場で何年もされている中、少しずつ変わってきている様子などもよくわかり、導入された頃より注目していかなければならない問題がよりはっきりしてきた。
- ・コミュニティ・スクールや地域学校協働活動について、何をやるにしても、この仕組みに関わる人々がそれぞれの想いを尊重しながら、子どもたちにどのようなことを伝えていくのかを考えていくことが大切だと感じました。
- ・コミュニティ・スクールに関わっている方々が、それぞれの立場で特色のある取組を紹介していただくとともに、苦勞されていることも知り、イメージ通りに取組が進まなくても焦らずじっくりと取り組んでいこうと思えた。
- ・それぞれの役割や機能が分かり、さらに両輪として機能することで、地域とともにある学校づくりが進むことが分かりました。両輪として機能するためにも、地域連携担当者の役割が大切であることもわかりました。

